

第6回自治医科大学附属病院地域医療連携研究会が

「地域で取り組む感染防止対策」をテーマに開催されました

患者サポートセンター

平成29年5月27日（土）18時より、ホテルマイステイズ宇都宮において、「第6回自治医科大学附属病院地域医療連携研究会」が開催され、県内外56の医科・歯科施設から医師・歯科医師・看護職・連携職員等、合計179名が参加しました。

佐田病院長の開催挨拶・当病院の現況報告に続き、森澤患者サポートセンター長を座長として、「地域で取り組む感染防止対策」をテーマに、次のとおり講演4題が行われました。

I. 地域で考える感染防止対策のベストプラクティス

—栃木地域感染制御コンソーシアム TRIC'K の取り組み—

JCHO うつのみや病院 医療安全管理部 看護師長 館野洋子

II. 感染防止対策の地域教育

—下野市教育委員会との連携による学校訪問—

上都賀総合病院 薬剤部 副薬剤部長 野澤彰

III. 医療従事者職業感染防止のための地域ネットワーク

—HIV 曝露後予防薬を供給するための栃木県モデル—

自治医科大学附属病院 患者サポートセンター長・感染制御部長 森澤雄司

IV. 本県における新型インフルエンザ等感染症発生時の対応について

栃木県 保健福祉部 健康増進課 副主幹 坂井喜子

各講演後と全講演終了後に質疑応答が行われ、最後に森澤センター長が座長総括と閉会挨拶を行い、研究会は成功裏に終了しました。

また、研究会終了後、20時20分より開催された情報交換会には約140名が参加し、山形副病院長の挨拶、関口忠司統括管理監（那須南病院）の乾杯を皮切りに活発な情報交換・懇談が行われ、松村総合診療内科科長の閉会挨拶をもって、情報交換会も大変盛況のうちに終了しました。

なお、来年（平成30年）は、5月26日（土）に開催する予定であり、引き続き充実した研究会を実施したいと考えております。



院長の現況報告



講演会



座長総括



情報交換会